

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 666 号	氏名	神田 紘介
学位審査委員	主査	大園 恵幸	
	副査	弦本 敏行	
	副査	柳原 克紀	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1、 研究目的の評価 本研究は、遺伝子治療における安全性及び遺伝子導入効率が高い非ウイルスベクターを開発しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2、 研究手法に関する評価 非ウイルスベクターとして遺伝子(pDNA)に様々な電荷比で安全性の高いポリマーである硫酸プロタミンを添加し、pDNA/プロタミン複合体を調整した。さらに細胞毒性を低下させるため納豆成分であるアニオン性ポリマーのγ-ポリグルタミン酸(γ-PGA)を加えて三重複合体(pDNA/プロタミン/γ-PGA)を作成し、遺伝子導入効率は、Luciferase assay、細胞毒性はWST-1 assayを用い検討したもので研究手法は妥当である。</p> <p>3、 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、pDNA/プロタミン/γ-PGA 三重複合体は、高い遺伝子導入効率を持ち、細胞毒性が少ない生体適合型の非ウイルスベクターを開発したもので、今後の遺伝子ベクター研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は、遺伝子治療学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			